

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(~~認知症対応型共同生活介護事業所~~ ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	ぐるーぷほーむ 花いちもんめ	評価実施年月日	平成20年12月12日
評価実施構成員氏名	小笠原 美子 / 山田 秀子 / 吉田 理華 / 石下 美由紀 / 前川 奈美 / 藏本 恵美		
記録者氏名	吉田 理華	記録年月日	平成20年11月12日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>制度の中で家庭的な環境と地域住民との交流の下で、利用者様やご家族の尊敬や願いを最大限尊重し、その人らしい暮らしを支えていけるよう、理念を設けた。</p>	○	<p>運営推進会議においても地域の方々との関わり、ニーズを検討し日常的なつながりをもてるようにしていく。地域との交流会に積極的に参加、ボランティアとの関わりを大切にしながら、開けたホームをきづいている。</p>
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>職員の採用時にはオリエンテーションを行い、必ず理念の説明と理解を得ている。理念が個々の生活の中で生かされるように取り組んで入る。日々念頭におくよう、スタッフの休憩室にも理念を掲げている。</p>	○	
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>広報誌を通じ、地域・ご家族の方々に当ホームの日々の生活様子などを理解していただけるよう、取り組んでいる。</p>	○	
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>散歩時には挨拶、会話を欠かさず行っている。なじみの関係が作られつつある。近隣の方が参加できる行事には声をかけ参加して頂いている。</p>	○	<p>防火訓練時には近隣の方も協力参加していただけた。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内の行事(季節行事・ミニ運動会)などに積極的に参加をしている。ボランティアさんとの交流も、定期的に来て下さる方も定着し、なじみの関係となっている。</p>	○	<p>町内の草取り・清掃・会館大掃除等積極的に参加しホームとの交流を図っている。近隣の小学校より総合学習の一環として、短時間ではあるが交流させていただいたこともあった。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>気軽に立ち寄っていただき、個人的に相談を受けたケースはある。地域集会などに極力参加をし、相談を受けたり悩みごとを聞いたりしている。時には助言させていただくこともある。</p>	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価を実施することについての十分な説明をスタッフに行い、取り組んだ。サービスの質の向上を改めて再認識する機会となっている。外部評価結果はいつでも見られるようリビング内に掲示している。	○	
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホーム内での取り組み、状況等を報告している。	○	今後、幅広い意見、要望を聞き、サービス向上に努めたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	GHネットワークが月1回の会議をもち、市や他のグループホームとの連携をとりながら、サービスの向上に努めたい。	○	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修にも参加し、成年後見人制度について学ぶ機会があったが、現在まで相談、依頼はなかった。	○	市役所等からも情報知識を得ている。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	研修等を通じ、得た知識をカンファレンス及び、日々の中で常に認識し合っているため、防止について徹底している。虐待はない。	○	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時には説明を行い、ご家族の方々からの不安、疑問点等はなく理解されていると思われる。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情は箱を設置したが、今まで利用する方はおりませんでした、日常的に関わりの中から思いを察知し、ミニカンファレンスなどで情報共有し、運営に反映していく体制ではある。</p>	○	
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>面会時にはホームでの生活状況・ケアプランの確認・受診内容・金銭の確認(確認後サイン)等をしていただいている。体調不良の際は電話で報告している。</p>	○	
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情は箱を設置したが、今まで利用する方はおりませんでした、日常的に関わりの中から思いを察知し、ミニカンファレンスなどで情報共有し、運営に反映していく体制ではある。</p>	○	
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見や提案をいつでも反映できる体制づくりをしている。改善できることはスタッフの意見を取り入れて反映させている。</p>	○	
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>利用様の状態、ペースに合わせて職員が必要な時間帯に体制が整えられるような、人員を確保している。その日の状態で勤務調整はいつでも行える。</p>	○	
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員の意向に添って働きやすい環境づくりに努めている。</p>	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者研修・スタッフ研修・GHネットワーク研修等積極的に参加させている。その研修結果をカンファレンス時に報告し、研修内容を共有している。	○	GHネットワークを通じ介護支援専門員研修・ケア・認知症研修・救急蘇生講習会等に参加し知識・技術の向上に努めている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	GHネットワークを通じ、各分野での勉強会を計画、実行している。当ホームだけではなく、地域全てのホームの質の向上を目指し取り組んでいる。	○	以前にも他ホームの協力を得て研修させていただいたが、今回も再度他ホームへの研修を考えている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員の話に傾聴する機会(個人面談)をもち、ストレスとなる要因を把握するよう努めている。有給休暇の使用を促したりしている。勤務状況も疲労感が溜まらないよう配慮している。	○	勤務状況はスタッフの意見を尊重して組んでいる。
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	働きやすくなるようなアイデアや要望を聞き流すのではなく実践につながるよう働きかけをしている。面談にて個々の努力を評価し、更なる向上につながるよう努めている。	○	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居後、担当者とケアマネが中心となり身体の状態、話の傾聴している。各スタッフもそれらの状況を受け止め信頼関係が築けるよう努める。	○	コミュニケーションを大切にしながら、利用者様の思いを尊重し、信頼関係構築につとめる。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	見学に来られた際、ホームの役割、支援をしっかりと説明し、相談に応じている。ご家族との信頼関係を築く第1歩として、困ったこと、不安なことを傾聴しじっくりと話し合いができるような雰囲気づくりをこころがけている。	○	ご家族の不安・願い・思いを十分に受け止め理解した上で、ホームとしてできること、役割を考える。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	主治医の助言によりホーム入所が最適と思われ、入所されたが医療行為が長期に必要となり入院となったケースが数件あった。	○	相談時、ご本人やご家族の思いや状況を把握し、何が必要かを見極め支援、対応していこうと考えている。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に家族と共に見学していただき、雰囲気をもてらうよう働きかけている。数週間は雰囲気、環境に馴染めるよう努めている。	○	他利用者様やスタッフともゆっくり時間をかけ、利用者様のペースに合わせて、馴染めるよう努めている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	生活曆を生かした場がもてるよう努め、職員も利用者様から学ぶ機会をもち、共に支えあう時間、関係づくりをしている。世間での話題に一喜一憂し、喜怒哀楽を共にしている。	○	家族団らんのような温かい雰囲気の中で、スタッフも利用者様から日々学びお互い共存しあっている。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	月1度のお手紙や電話連絡、面会時での日常生活状況を細かく伝え、情報を共有することに努めている。利用者様のご家族の協力を得ながら支援していく協力関係が築かれている。	○	
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	お手紙・電話連絡・面会時にて日常生活状況をお伝えし、本人と家族のつながりがより良い関係で継続できるよう支援している。	○	
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの知人、友人が来られた際には再度足を運んでいただけるよう、働きかけている。又、本人が「会いたい」と希望される時には、ご家族の承諾を得て、連絡したいと考えている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者様同士の関係について職員全員が情報共有して、共同作業やレクリエーション活動を通し、より良い関係づくりも努めている。	○	
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービス利用終了後も困っていること、不安なことがありましたらいつでも相談に来てほしいことを伝えている。公共施設でご家族と会った時にはお互い、声を掛け合い近況を聞かせていただいている。	○	利用者様が医療機関、施設等に利用されている方には、機会をつくり、お見舞いにかがうようにしている。又、利用者様が亡くなられても、ご家族が懐かしく思いホームに遊びに来られる。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎月の関わりの中で本人の意向を汲み取り、把握しよう努めている。本人からの希望が聞き取れない時にはご家族からの情報を得て、ご本人のニーズにつながるよう検討をしている。	○	
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ご本人からの聞き取りと合わせ、入居決定時にセンター方式による基本情報をご家族に記入していただき生活歴、馴染みの暮らしについての把握に努める。	○	入居後本人と会話時に以前、家にいた頃の生活様子や子供さんの話など聞かせてもらいケアにつなげている。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個々の生活リズムを把握し、その時の状況に合わせたケアができるよう努めている。カンファレンスでは心身状態、有する力などの現状を十分に話し合いケアに活かせるよう努めている。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族が面会に来られた際には現状のケアについて報告し、ご意見やアドバイスをいただく機会を設けている。それらの意見を担当者を中心としカンファレンス時に検討しプランに盛り込めることは追加している。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	期間の見直しは担当者を中心として日々のミニカンファレンスで対応を確認している。状況変化に伴い新たな計画書を作成する体制ではあるも本人のニーズを中心に作成しているため短期間での変更数は多くはない。	○	
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	フローシートをこまめに記入している。ご本人から言葉、それに伴う表情など知りえる範囲で記入し、情報共有している。それを基にケース記録に反映し、必要であれば計画書の見直しを検討する。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	医療機関への受診、緊急受診は家族の要望に応じ、職員が付き添い支援をしている。看護師が体調を管理し、利用者様、ご家族の方々も安心していただいている。	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	不定期ではあるが近隣の方々がボランティアに来られ、生活の場を共有する時間が多々有る。運営推進会議では民生委員の方にも参加していただき意見交換を行っている。地域の行事では福祉部が中心となり声をかけてくださり、参加させていただいている。	○	
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	訪問美容サービス・市立図書館などを中心に支援を行っているが、本人の要望があれば近隣の理美容室など利用者様の必要としているサービスをできる限り努めている。	○	
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	利用者様の依頼など及び、会議など出席した情報交換の場になっている。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	看護職員が中心となり日常健康状態を管理している。必要に応じ様々な医療機関を受診している。	○	
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医からの診断、治療方針、認知症などについて指導、助言をいただいている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員を確保し、健康管理や医療面での助言をもらい支援をしている。何か異常が観られた際は24時間いつでも報告できる体制を整えている。	○	
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院された時はこまめに面会を行い安心して過ごしていただくよう支援している。その際ご家族への報告も忘れず行き、情報交換をしている。体調面でも医療関係者と情報交換し退院時の支援体制を整えられるよう努めている。	○	
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化に伴う対応の変化について看護職員が中心となり、医師、家族、職員それぞれの方針、要望を全員で共有できている。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化した場合や終末期に向けてご家族との話し合いを密にしているが、終末期ケアに対してホームの体制が、整っていないことなどご家族の理解を得ている。また、緊急時の対応についても医療機関との連携を密にし、対応を確認している。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	他の機関へ移る際には日頃のケース記録より介護添書を作成し、情報を提供している。介護に対するダメージがないよう細かい部分まで情報を提供するよう努めている。	○	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	本人の誇りやプライバシー、自尊心を傷つけないよう対応には十分に注意をはらう様、職員全員に周知徹底している。個人情報の洩れ防止にむけて契約書を作成し、スタッフ全員が署名、捺印をしている。	○	
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	日頃より思いや希望を話しやすいような雰囲気となるよう心掛けている。特に入浴、散歩時などに話していただけること多い。出来る方には自己決定の働きかけをし、納得しながら暮らしていただけるよう支援している。	○	
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人ひとりのペースを把握し、自由な過ごし方を基本としている。しかし、ケアプランに沿い、促しにより行動をとっていただくなど支援もしている。	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	自己決定が出来る方は身だしなみやおしゃれを楽しんでいただけるよう、意向を尊重しているが、なかなか自己決定が出来ない方には職員と一緒に考え、ご本人の意向を確かめながら支援に努めている。	○	
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様と共に食事作り、食事準備、後片付けなどを行っている。その間会話も弾み、楽しい時間となっているようである。嫌いな食材があれば取り除きメニュー変更を個々に合わせて行っている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	入居時点で嗜好品を把握し、主治医からの指示を仰ぎ利用者様のメニューやおやつなどできるだけ、提供できるよう体制をとっているが、疾病により摂取制限をされている方には説明し、納得されている。	○	
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	利用者様の排泄チェックを行い、排泄パターンを把握の上で個々にあった時間誘導を心掛けている。できる限りトイレで排泄できるよう援助している。	○	
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	現在、入浴時間の希望が聞かれず、声掛けにて入浴していただいている。	×	今後、入浴希望を聞かれた時の職員配置、対応を検討していきたいと思う。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の体調を配慮し、日中の活動、生活リズムをつくるようにしている。夜間の不眠時には会話をしたり、暖かな飲み物を提供するなど、気持ちの安定を図るよう支援している。時には職員と一緒にテレビを観たりもしている。	○	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	日常生活の中で、自然に個々の役割が分担されており、声掛けなくとも自ら意欲をもってお手伝いをしていただける時もある。	○	
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を所持している方には少なく、「紛失した」「〇万円持ってきたはずだ」などと勘違いされトラブルとなることがあり、ご家族の希望、同意によりホーム管理をさせていただいている。物品が不足している時にはご家族に連絡しご協力していただくこともあります。	×	利用者がほしい物、必要な物を自分で財布から支払いをしていただく機会を増やして、いかなければと考えている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	個々の体調を配慮しながら、散歩は毎日行い、ご本人の希望に応じて図書館、買い物など外出を行っている。	○	
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	計画を立て外出する時もあるが、その日の気分で個別あるいは、数人で外出することもある。ご家族対応強力のもと外食に出掛ける機会も少なくない。	○	エコリン村・りんご狩り・支笏湖・滝野公園・パークゴルフ・しゃげ科学館などの外出を行っている。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	「電話かけたい」と希望がある時はいつでも(深夜帯以外)電話を使用できる。以前は絵手紙を書き遠くのご家族へ送ることもありましたが、今はご本人の希望がないため、職員援助のもとで年賀状を書き送っている。	○	
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時間は特に定めておらず、いつでも来訪できるよう配慮している。また、ご家族が安心できるよう、明るく笑顔での対応を心掛けている。	○	
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	見守りの強化、環境整備するなどし、身体的精神的な拘束のないケアを行っている。研修で学んだことをカンファレンスを通し理解、周知をしている。	○	
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中施錠しておらず、1日10回程度外に出る方が1名おりますが、職員は制止することなくご本人の目的を理解し、背後より見守りをしている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>日中は所在、本人の様子などの把握に努めている。夜間は巡回、音などの察知し状況を確認、起きて来られた方にも援助、安全確認行っている。</p>	○	
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>必要に応じ、ハサミ、裁縫道具など提供しているが、管理は職員が行っている。</p>	○	
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>事故やヒヤリ・ハットに関する報告、記録を保管し対策を確認し合い、個々に応じた事故防止、再発防止に努めている。</p>	○	<p>消防訓練の実施。又、スタッフ同士の連携をとり、危険のない暮らし、安全、安楽な生活に努めている。</p>
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>カンファレンスで応急処置の勉強会を行ったり、消防士の方より救急蘇生の指導を受けている。</p>	○	
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>消防署の協力により避難訓練を行っている。避難訓練の場所の確認、消火器の使い方などの指導を受けている。</p>		
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。</p>	<p>利用者様に起こり得るリスクについて入居時や状態変化時などにご家族に説明を行っている。</p>	○	
<p>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	体調変化時にはケースに記録、申し送りを行い情報の共有に努め看護師に報告、場合によっては変化状態を確認し、速やかに対応ができるようにしている。	○	
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の内容はファイルに保管しており、職員がいつでも確認できるようにしている。副作用についても薬剤情報、主治医からのアドバイスを参考にし、症状を把握している。服用は確認と薬を行い、誤薬、欠薬のないよう努めている。	○	
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘傾向の方には乳製品、水分を多く提供、腹部マッサージ、温湿布など行っても排便促されない場合には主治医の指示により、下剤を投与し排便コントロールにつなげている。	○	
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後に歯磨きを行い、個々に応じた介助支援を行っている。必要に応じ訪問歯科、歯科受診の診療指導をいただいている。	○	
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量は毎食チェックし、記録にのこしている。水分の少ない方には飲み物のバリエーションを考え、提供している。メニューも高蛋白、低カロリーを心がけ、咀嚼、嚥下状態に応じ全粥、キザミ、ミジンにし誤嚥のないよう工夫し提供している。	○	
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後には手洗い、うがいをを行いノロウイルス対策として1日2回、手摺りや身の回りの消毒(10月～4月)を行っている。利用者様、職員は毎年インフルエンザ予防注射を受けている。	○	
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	衛生マニュアルを作成しており、調理器具などマニュアルに沿って実施している。また、冷蔵庫清掃もこまめに行っている。賞味期限チェックも毎日怠らず、新鮮な食材での調理を心掛けている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p> <p>玄関前には椅子を置いており、いつでも外気浴ができるようになっている。近隣の方々が立ち寄り、交流の場とすることができる。</p>	○	
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>季節感のある花や飾りつけを行い、昔なつかしい歌や好む音楽を流し、居心地良く過ごしていただけるような工夫をしている。</p>	○	
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> <p>テレビ前にソファセットが置いてあり、ソファで横になってテレビを見たり、仲の良い方々が集まり、会話を楽しんだりしている。また、他者と関わりに気が向かない方は1人で過ごせる空間を設けている。</p>	○	
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>利用者様がこれまで使われていた物、使い慣れた物、好みの物などご家族と相談し安心した居室での生活できるよう配慮している。</p>	○	
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p> <p>居室の掃除、寝具交換、排泄臭、温度上昇時には換気を行っている。冬季でも室温が下がらない程度に換気をし、暖房で乾燥しないようご自分の洗濯物を干していただいたり、濡れタオルをかけるなど湿度にも十分注意をしている。</p>	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> <p>身体機能に見合ったベッドの高さ、ベッド柵の調整、また転倒につながらないような家具の配置を工夫している。</p>	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>何ができるのか、自分のやりたいことなど、どうしたら意欲をもってできるようになるのかを見極め、混乱のないようカンファレンスで検討し、不安材料を取り除けるよう努めている。</p>	○	
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ホーム周辺には花鉢、野菜を植えたり玄関前に椅子、テーブルを設置。外気浴・おやつ・昼食・椅子に座ってボール遊び・パターゴルフ・花鉢をみながらのショート散歩も楽しめるよう工夫をしている。</p>	○	

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ✓①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ✓②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ✓①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ✓③たまに ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input checked="" type="checkbox"/> ①大いに増えている <input type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

・外出 ・季節感を出すためホーム周辺の花壇(鉢植え)づくり ・お誕生会 ・年間行事・ 図書館で本の貸し出し(2週間ごと)